

中高生が最新技術でスポーツイベントを盛り上げるアイデアを考案 第1回『スポーツアイデアソン』開催

フューチャー イノベーション フォーラム（代表：牛尾治朗・ウシオ電機株式会社社長、金丸恭文・フューチャー株式会社社長兼社長、以下F I F）は8月2日（水）、中学・高校生を対象に最新テクノロジー「MR（Mixed Reality：複合現実）」を使ってスポーツイベントを盛り上げるアイデアを考える『スポーツアイデアソン』を開催しました。中高生に身近なスポーツをテーマに最新技術を用いて課題解決に取り組む場を設けようと、今年初めて企画しました。

当日はプログラミング未経験者を含む16名が参加し、一人ずつMRを体験したあとVR（Virtual Reality：仮想現実）ゲームのプログラミングにも挑戦しました。その上でMRを活用したスポーツの新しい観戦スタイルや課題を解決するアイデアを出し合い、参加者の投票で4つの案に絞り、グループで協力してブラッシュアップしていきました。

アイデア発表では、選手のスピードや強さを動物にたとえるサービスやMRを使った道案内システムなどをプレゼンし、最優秀賞には、スポーツを観戦しながら同時に音楽ゲームが楽しめるアプリが選ばれました。審査員からは「どれも素晴らしく甲乙つけがたい」「実用化したら、観戦だけでなく選手の強化にも応用できそう」といった講評が寄せられました。参加者は「一人では思いつかないアイデアがたくさんあって面白かった」「3年後の東京2020には、自分もぜひ関わりたい」と話していました。今回考案したアイデアは、実現に向けて検討していく予定です。

F I Fは今後もコンピューティング教育の機会を提供し、子どもたちの未来に貢献します。

【実施概要】

日時：2017年8月2日（水） 10:00～16:30

会場：フューチャーアーキテクト株式会社
（東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower）

参加者：中学生・高校生 16名

プログラム：

1. MR体験とプログラミングの学習
2. アイデアソン（個人ワーク・グループワーク）
3. アイデア発表
4. 表彰式、審査員とのトークセッション

審査員： ※敬称略、氏名50音順

朝日健太郎（参議院議員、男子バレーボール・ビーチバレーボール元日本代表）、上林功（一般社団法人超人スポーツ協会事務局次長）、上原大祐（NPO法人D-SHiPS32代表、パラリンピック銀メダリスト）、村澤清彰（ライブリッツ株式会社代表取締役社長）

主催：フューチャー イノベーション フォーラム

協力：一般社団法人超人スポーツ協会、

NPO法人D-SHiPS32、フューチャー株式会社、

フューチャーアーキテクト株式会社、ライブリッツ株式会社、株式会社ワイ・ディ・シー

後援：品川区教育委員会、未来の学びコンソーシアム



グループ別にアイデアを発表



MR体験

【お問い合わせ】 F I F事務局

TEL：03-5740-5817 Mail：forum@future.co.jp 公式サイト：http://fif.jp/